

# 2024 年 FIE 国際審判試験報告書

1, 渡航先及び期間：マレーシア クアラルンプール 2024 年 9 月 6 日～9 月 9 日

2, 受験者：吉田真奈美、弘瀬智子、櫛橋茉由

3, 受験者数,合格者数：フルーレ 24 名⇒11 名 エペ 25 名⇒13 名 サーブル 25 名⇒12 名

4, FIE 試験官(4 名)

・ SHAMIS Vladisla(RUS)

・ Cojocari Olga(MDA)

・ Knysch Irina(RSA)

・ Amgad Badawi(USA)

5, 試験形式 ※全種目同じ試験形式

①筆記試験：全 15 問(共通 10 問,種目 5 問) 2 問不正解で不合格

試験問題は英語、フランス語、スペイン語から選択が可能。試験時間は 30 分(解答が終わり次第提出)問題文を読み 3 択から正解と思う回答をチェック。試合規則(競技規則、用具規定、組織規定)から出題。全ルールが範囲のため英語のルールブックを熟読する必要がある。またシチュエーション問題では違反やポイント付与の有無、レフリーの行動など実際のプレーをイメージして解く問題もあり文章の読解力やイメージ力も必要。採点終了後全員集められ不合格者の名前と国名が言われ、不合格者はなぜ不合格だったか指導を受ける。合格者は次のビデオ試験のため控室で待機。

②ビデオ試験：全 10 問 2 問不正解で不合格

1 人ずつ試験会場に入り、名前と国名を言いスタート。大画面のスクリーンの前に立ち受験者の「アレ」の

合図で動画がスタート。スクリーンに映し出された試合映像を見てジャッジをする。フルーレとサーブルはフリーズと違反、エペは主に違反が見る事ができているか、またハンドシグナルがしっかりできているかをチェック。スロー再生を求めることも可能。試験官が背中側にいるため表情を伺うことができず、緊張する中正確なジャッジをしなければならないというプレッシャーに耐える精神的な強さも必要となる。自分のジャッジが合っているか分からぬまま「ネクスト」の声と共に次の動画へ。全問終了後は待機。全受験生終了後、全員集められ不合格者の名前と国名が言われ、不合格者はなぜ不合格だったか指導を受ける。

### ③実地試験：6,7人プールのプール戦を実際に審判

マレーシアオープン戦、近隣国から選手が集まる大会。試合前の道具や防具のチェックから選手の呼び出しまで。もちろん違反者には交換を求めたり、ペナルティの対象となり正しいルールを選手に伝えられるかも知合否の対象となる。フルーレ、サーブルはフリーズの正確さはもちろん選手からの問い合わせに英語で答えなければならない。エペも違反者に対してペナルティの理由を英語で伝え納得をしてもらわないといけない。日本人としてはジャッジよりも「正しく選手に伝える」という語学力が大きなハンデとなるため前もって英会話を勉強をしていく必要がある。

## 6, 試験結果

吉田真奈美（フルーレ合格）

櫛橋茉由（フルーレ合格）

弘瀬智子（エペ合格）

## 7, 所感

女性審判員3人の受験という事で、とても素晴らしい機会を与えていただきました。世の中が「女性の活躍の場を増やす」という方向で動いている中、審判のジャッジにおいて男女は関係ありません。いかに正確に

ジャッジをし、的確なルールで見極め、試合をコントロールする。これは日本国内だけでなく世界の共通認識です。実際に受験し「ここからが始まりだ」と思いました。日本がより高いレベルの審判になるために勉強し、情報をアップデートしていく必要があります。審判員のチームワークは強く、国境を超えて知識の情報共有を積極的にできる環境であると感じました。さらなるレベルアップを目指し 2024FIE 審判試験受験の報告とします。

